

# SHIP 通信

県立麻生支援学校  
教育相談・地域支援グループ

No.2  
令和5年9月 発行

## 教育相談・地域支援担当から



今回は①刊行物の紹介と、②夏の人権研修会の振り返りの2本立てです！

## 刊行物の紹介



### 川崎市在住の方へ

『豊かな地域療育を考える連絡会』より、『障害児の子育て支援ハンドブック-改訂版-』（税込¥500）が発行されています。川崎市内の障害福祉に関する様々な情報がギュッと1冊にまとまったハンドブックです。麻生校舎図書コーナーの木棚に購入した冊子を置いてありますので、ご自由にご覧ください。

※図書コーナー内のみでの閲覧をお願いします。  
（持ち出し不可）

豊かな地域療育を  
考える連絡会 HP



### 横浜市在住の方へ

『青葉区移動情報センター』のリーフレットが新しくなりました！

移動情報センターは、横浜市在住の障がいのある方が外出に関するサービスを利用したいとき、相談を受けてガイドボランティア等を紹介する窓口です。

麻生校舎の図書コーナーに配布用リーフレット（右図）がありますので、ご自由にお取り下さい。

※川崎市在住の方で外出時のサービス（移動支援）について相談したい場合は、区役所の『地域みまもり支援センター』が窓口になります。



## 夏の人権研修会

### 「卒業したら、どうする？」

7月25日、一般社団法人 木と葉と根の代表理事である今泉修一先生をお招きし、「卒業したら、どうする？」というテーマでご講演を頂きました。グループホームで関わりのある方々の事例を具体的にお話して下さり、卒業後の自立に向け、在学中に好きなことや得意なことをを見つけることの大切さや、家庭以外の支援体制づくりの必要性などについて具体的にお聞きすることができ、大変勉強になりました。この研修で学んだことを、今後の児童・生徒との関わりに生かしていきたいと思えます。



## 移行支援(進路)担当から

### 企業と語ろうin麻生



7月27日(木)に本校で行われた「企業と語ろうin麻生」では、地域の小学校の特別支援学級から、特別支援学校高等部生徒の保護者まで、さまざまな年齢層のお子様を持つ保護者に参加していただきました。グループディスカッションの中で、企業の方よりいただきましたお話をいくつか共有させていただきます。

- ◎情報を早くキャッチして欲しい。早いうちから準備を！特例子会社の仕組みや法定雇用率などについて調べる。今後、雇用率が上がるので就労のチャンス。早いうちから子どもの特性を知っておく必要がある。子どもにいろいろな事をやらせて欲しい、成功体験を積ませる。きょうだいや他者と比較しないこと。役に立っている、自分が必要とされていると感じることが大切。夢中になることや得意なことを伸ばして欲しい。中学校卒業後、特別支援学校やインクルーシブ校、サポート校などいろいろ選択肢がある。実際に見学に行き、お子さんに合った学校を選択することが大切。
- ◎大事なものは、働くことに対する気持ちを醸成させる事。働くことで喜ばれる、意欲を持つ、などがあることで続けられる。意欲のある人、ひたすら真面目、素直な人が企業では求められる。斜に構えている、偉そうにしている人は敬遠される。
- ◎仕事が定着しないケースは実習時点でのミスマッチ。なんでもいから就労、ということは本人の意思とは異なってしまう。本人の意思を大切に。

#### 【家庭でできることなど】

- ◎家庭での手伝いをぜひやらせて欲しい。家庭のサポートも必要。
- ◎やるべき準備としては、自力通勤と、身だしなみは必須。
- ◎お金の使い方  
昼食や飲み物を買う代金を、交通系ICカードにチャージする形をとっていた方が、食事は質素なものにして、ゲームを買っていた。「ICカードで何でも買える」となってしまう、いろいろなものを買ってしまった結果、お金が無くなり、最終的にはゲームが欲しくて万引きをしてしまった。お金の使い方を教えて、見えないお金はなるべく避けるように。その日の分のお金しか渡さないなどの対応を。
- ◎放課後デイを利用することは良いと思うが、デイにまかせっきりでは駄目。親も一緒に協力しながら連携を。
- ◎就労をゴールにしてしまう保護者と、スタートと考える保護者がいるが、企業が求めるのは、スタートと考える保護者。企業なので、福祉サービスではない。保護者は先に死んでしまうので、親なき後、本人が自立するため、就労後の成長を目指していくことが大切。

上記、保護者の方々の質問に、企業側から返答があった内容の一部です。当日は、5グループにわかれてさまざまな質問に答えていただきました。企業就労にかかわらず、早めの情報収集と、やるべきことを意識しながら日々を過ごすということが大切だと、改めて感じた1日でした。そして、「暑い中、遠かったけど、今日は来て良かったです」とおっしゃっていただいた保護者の方の笑顔が印象的でした。